

2年目の手ごたえ！深江通学合宿

～語り、つながり、知恵を出し合い、地域で子育て～

福岡県糸島市 糸島市立深江公民館 【公立公民館】館長 海田達雄

1. 地域の概要

糸島市立深江公民館は、福岡県の最西端に位置する糸島市の、また西に位置する二丈深江にあり、糸島市の人口は約10万人、二丈深江は約5,000人で19行政区をかかえ、高齢化率29,1%の地域である。

2. 課題・実態

- 少子高齢化が進んできている。
- 地域住民のつながりが希薄化してきている。
- 子どもの行事への参加や体験の減少に対する危機感がある。

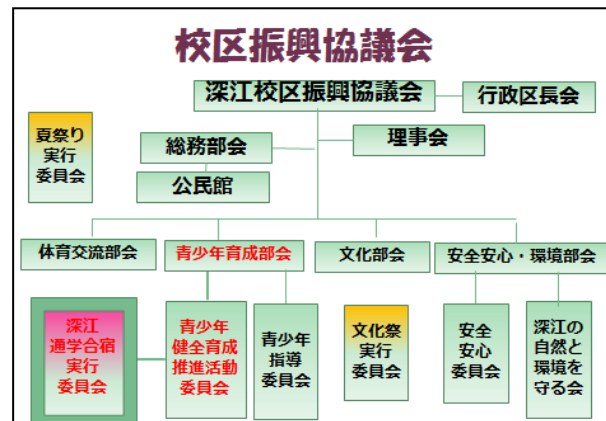
3. 事業名

「深江通学合宿」

4. 実施主体

深江通学合宿実行委員会

〔構成〕深江校区振興協議会・青少年育成活動委員会・糸島市立深江公民館



5. 実施に至る経緯

- 「昔はよかった…」懐古で終わるのではなく「何かできることはないか」
- 小学生へ「盆踊り」の指導を行う。→続けることで中学生がお手本・リーダーへ。
- 「打てば響くし、やれば何か反応が返ってくる。」
- 通学合宿発案者、正平辰夫先生の「通学合宿」の講話（約15年前）から、「地域づくりに活用できないか」
- 糸島市の共創プランによる、まちづくり基金（25万円）の活用が可能となる。昨年度より「深江通学合宿」を実施し、今回で2回目の実施となる。

6. 連携・協力

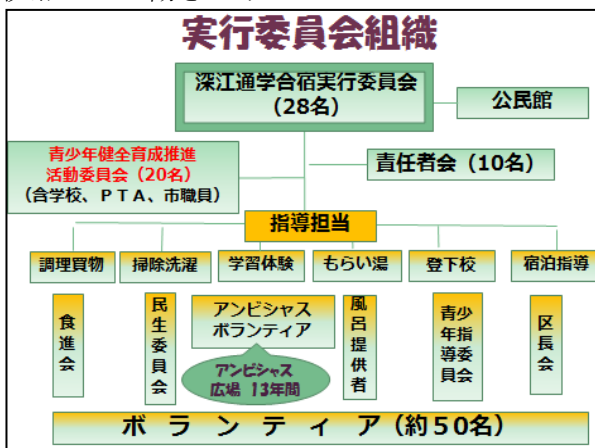
【講演・指導】福岡県教育庁福岡教育事務所 【減免・天文】糸島市教育委員会
【食事・買物】食進会 【洗濯・清掃】民生・児童委員

【通学・宿泊】行政区長会 【もらい風呂】やよい野行政区住民

7. 通学合宿における、公民館の役割を視点とした働きかけ

①しくみづくり

- ・青少年健全育成推進活動委員会を中心にした実行委員会の立ち上げ
- ・既存の各種団体、深江校区振興協議会への協力依頼
- ・各種団体毎の役割分担、校区住民へのボランティア呼びかけ及び担当割振り



②まなびづくり

- ・実行委員・スタッフ研修→「ねらい」「目標」の共有と活動への意欲向上
- ・保護者の事前研修 (ワールドカフェ) →子どもへの関わり方の振り返り・交流

③つながりづくり

- ・保護者同士のネットワーク構築
- ・行政、学校、深江校区振興協議会各種団体との連携

8. 事業の内容

10月14日(火)～10月18日(土)の4泊5日で「通学合宿」を行い、小学校3年生～6年生の28名(男子13名 女子15名)の参加だった。

●開所式 (スタッフ紹介)



●ワールドカフェ



●上手、上手！



●うちのお風呂へおいで！



●釣りならまかせんしゃい！



●掃除の仕方も教えてもらいました！



9. 成果

- 既存の組織の連携が進み、役割や活動に対して達成感を持てたこと。
- 多世代交流が進み、地域で子どもを育てようとするきっかけができたこと。
- 公民館活動から家庭教育を支援する働きかけができたこと。

・「通学合宿」終了後行ったアンケート結果

☆参加者（小学生）

- ①楽しかった
- ②いろいろな体験活動ができた
- ③友達と協力して過ごせた
- ④自分の役割はできた
- ⑤喧嘩したけど、みんなで話合っ解決した 他

☆ボランティア・スタッフ

- ①子ども達は、正しい生活習慣が多少身についた
- ②子ども達は、地域の人達とふれあう事ができた 他

☆保護者

- ①地域の人とふれあえた
- ②いろいろな体験活動ができた
- ③親と離れた生活体験ができた
- ④今後、できれば参加させたい

10. 今後の課題と展望

[課題]

- 成果やよさを多くの地域の方に理解してもらうための広報の在り方
- たくさんの方に関わってもらうための体制・組織づくり

[展望]

- 通学合宿を経験した子どもたちが次世代の深江校区のリーダーへ。
- 親だけでなく、地域全体で子どもを育てる深江校区へ。
- 多世代にわたる交流によって、活力ある深江校区へ。

11. 問い合わせ先

〒819-1601 福岡県糸島市二丈深江 1145-1 糸島市立深江公民館 海田達雄
TEL 092-325-0234 fax 092-325-2601
メール fukae.k@city.itoshima.lg.jp